

「介護DX人材」決意表明

アスパートナイズ 20周年・上場記念し式典

アスパートナイズ（東京都千代田区）は11月20日、創業20周年と4月の株式上場を記念し都内で式典を催した。介護事業を展開する法人や取引先企業など616名が参加。業界の未来に向けたビジョンを発表した。

式典のテーマは「Caring the future」。1年前に社内で選抜された若手社員7名でプロジェクトを発足し、

テーマ設定やプログラムの企画、当日の司会、投影映像の制作などを行った。

植村健志社長は「創業以来さまざまなことにチャレンジし、それを楽しんできた。この企業風土と文化で事業



▲植村社長が役職者一人ひとりを紹介

を進展させ、介護業界を社会的評価の高い業界に変えていきたい」と語った。同社は現在、介護付きホーム28施設、デイサービス・シ

ョートステイ20事業所を展開。「今後も90室以上の規模のホームを作っていく」とした。新規事業では、介護業務効率化支援システム「EGAO link」を活用した介護DXサポート事業を広げていく方針。

各事業部役職者や社外取締役・監査役を紹介したのち、元環境大臣・元衆議院議員の鴨下氏が来賓挨拶を行った。「介護保険創

「未来のモデルに」 鴨下氏が来賓挨拶

設から20年以上が経過し制度の限界も見えてきた今、どのようなビジネスモデルが必要なものも上映した。これは、

の。ICTの活用などにより介護保険だけに頼らないモデルを早く打ち出してきたアスパートナイズの今後に期待したい」と激励した。

上場ドキュメントのほか、本式典のテーマをタイトルとした動画も上映した。これは、



▲新卒入社した職員らによる決意表明

人材」の育成も進められている。新卒10年目の伊藤太朗さん、新卒3年目の松井友美さんは「私たちが介護を変えたい」と決意表明を行った。

点検 介護保険

介護保険の利用者として最も対応を迫られるのは一人暮らしの後期高齢者だろう。同居家族がいれば、認知症者になって在宅サービスを使いこなしながらの継続生活は可能かもしれない。夫婦二人で互いに支えあいがらの共暮らしは多い。だが、一人暮らしになると難しい。その実態把握が重要になる。

国立社会保障・人口問題研究所が11月12日、都道府県別に2050年までの世帯数の将来推計を公表した。その中で「75歳以上の独居」をキーワードに探ってみる。

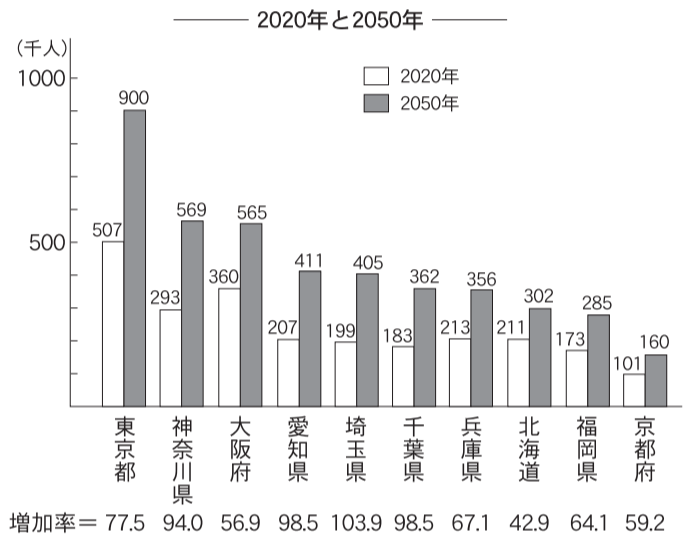
75歳以上の全国の単身世帯は、2050年には704万世帯となり、20年の417万2000世帯から68.7%も増える。団塊世代だけでなく団塊ジュニア世代も含まれるので、30年間の増加率は

東京都に次いで多くするのは、57万人の神奈川県、56万5千人の大阪府、41万人の愛知県、40万5千人の埼玉県、36万人の千葉県となる。以下、兵庫県、北海道、福岡県、京都府と続く。

第173回

浮上する「1都3県問題」 「70歳以上独居」の急増自治体

＜75歳以上の独居者が多い上位10の都道府県＞



ある。それぞれ、20年に29万人、20万人、18万人だった。それが50年にかけて94%増、103.9%増、98.5%増といずれも2倍前後の驚異的な増え方になるという。神奈川県は大阪府を抜いて2位に浮上する。

2050年までに、この1都3県での介護保険利用者の急増が確実といふことだ。「1都3県問題」とかねてから指摘されてはいたが、改めて問題の深刻度が確認できる。

なかで、東京都の突出ぶりが目を引く。「75歳以上の独居」者数は、20年時点での2位との差を大きく広げた。20年には

2位の大阪府と14万7千人しか差がなかったが、50年になると2位の神奈川県を2倍近い33万人も引き離す。2位よりも6割近くも多くなる。75歳以上の人口うちの独居率をみると、全国平均が28.9%なのに対して、東京都は7ポイントも多い35.7%で断然第1位である。

また、世帯主75歳以上の世帯の中で、独居者が全世帯の中に占める比率でも全国平均は47.2%なのに対して、東京都が54.3%と突出して第1位である。家族や夫婦との同居が全国で最も少ないことを示している。大都会ならではのシングル生活者が後期高齢者になっても多いということだ。

一人暮らしでも趣味や地域活動に熱心な高齢者は多いだろう。だが、75歳を超えるようになる

また、世帯主75歳以上の世帯の中で、独居者が全世帯の中に占める比率でも全国平均は47.2%なのに対して、東京都が54.3%と突出して第1位である。家族や夫婦との同居が全国で最も少ないことを示している。大都会ならではのシングル生活者が後期高齢者になっても多いということだ。

一人暮らしでも趣味や地域活動に熱心な高齢者は多いだろう。だが、75歳を超えるようになる

また、世帯主75歳以上の世帯の中で、独居者が全世帯の中に占める比率でも全国平均は47.2%なのに対して、東京都が54.3%と突出して第1位である。家族や夫婦との同居が全国で最も少ないことを示している。大都会ならではのシングル生活者が後期高齢者になっても多いということだ。

一人暮らしでも趣味や地域活動に熱心な高齢者は多いだろう。だが、75歳を超えるようになる

また、世帯主75歳以上の世帯の中で、独居者が全世帯の中に占める比率でも全国平均は47.2%なのに対して、東京都が54.3%と突出して第1位である。家族や夫婦との同居が全国で最も少ないことを示している。大都会ならではのシングル生活者が後期高齢者になっても多いということだ。

また、世帯主75歳以上の世帯の中で、独居者が全世帯の中に占める比率でも全国平均は47.2%なのに対して、東京都が54.3%と突出して第1位である。家族や夫婦との同居が全国で最も少ないことを示している。大都会ならではのシングル生活者が後期高齢者になっても多いということだ。

また、世帯主75歳以上の世帯の中で、独居者が全世帯の中に占める比率でも全国平均は47.2%なのに対して、東京都が54.3%と突出して第1位である。家族や夫婦との同居が全国で最も少ないことを示している。大都会ならではのシングル生活者が後期高齢者になっても多いということだ。

また、世帯主75歳以上の世帯の中で、独居者が全世帯の中に占める比率でも全国平均は47.2%なのに対して、東京都が54.3%と突出して第1位である。家族や夫婦との同居が全国で最も少ないことを示している。大都会ならではのシングル生活者が後期高齢者になっても多いということだ。

また、世帯主75歳以上の世帯の中で、独居者が全世帯の中に占める比率でも全国平均は47.2%なのに対して、東京都が54.3%と突出して第1位である。家族や夫婦との同居が全国で最も少ないことを示している。大都会ならではのシングル生活者が後期高齢者になっても多いということだ。



日本医療食研究所

お問い合わせ

埼玉県さいたま市北区東大成町2-250-3KBLビル

TEL.048-666-1955

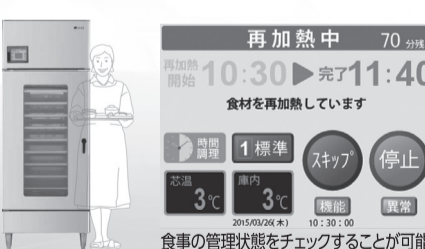
高齢者施設・福祉施設の食事を完全サポート

すまあとミール

「すまあとミール」ってなに？

セントラルキッチンで調理を行い、器に盛り込んだ状態で施設へお届けする新しいサービスシステムです。さらにお食事後の洗浄作業もいらないことから、専属で厨房作業を行う人員を確保する必要がなくなります。

調理済
盛付済
洗浄不要



セントラルキッチンで調理・盛付したお食事をお届けします。タイマー付き再加熱機で温めるので、適時適温で提供ができます。さらに食器の洗浄もセントラルキッチンで行います。

- 最小限の設備でスペースの有効活用
- 調理・盛付・洗浄不要で手間なし
- 安心の衛生管理
- アツアツの食事を同時提供